帯状疱疹後に残る痛みのコントロール

中川雅之（NTT 東日本関東病院ペインクリニック科医長）

本コンテンツはハイブリッド版です。PDFだけでなくスマホ等でも読みやすいHTML版も併せてご利用いただけます。

▶HTML版のご利用に当たっては、PDFデータダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。

▶シリアルナンバー付きのメールはご購入から３営業日以内にお送り致します。

▶弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することでHTML版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/ をご参照ください。

▶登録手続

Introduction ―― p2

1 帯状疱疹後神経痛(PHN)とは ―― p4

2 PHNの疫学 ―― p5

3 帯状疱疹の痛みの機序と性質 ―― p6

4 PHNの診断 ―― p6

5 PHNの治療 ―― p7

6 日常生活のアドバイス ―― p16

7 皮疹治癒後の遷延する痛みの治療 ―― p17

8 PHNにならないために ―― p18

9 おわりに ―― p18

10 伝えたいこと ―― p18

▶販売サイトはこちら

日本医事新報社では、Webオリジナルコンテンツを制作・販売しています。

▶Webコンテンツ一覧

© 日本医事新報社 2023　著作権法上での例外を除き、無断複製・転載は禁じられています。

Introduction

1 帯状疱疹後に残る痛みとは

・帯状疱疹後に残る痛みは，「帯状疱疹後神経痛（PHN）」と呼ばれる。PHNは難治性の痛みで治癒が期待できないため，治療は薬物療法や神経ブロック療法などによる対症療法が中心となる。

2 帯状疱疹後神経痛(PHN)の疫学

・PHNは帯状疱疹の最も頻度の高い合併症で，帯状疱疹に罹患すると抗ウイルス薬を早期に使用しても，10～25％がPHNに移行する。

3 PHNの危険因子

・PHNの危険因子として，高齢，皮疹の重症度，皮疹発現時の強い痛み，前駆痛の存在，免疫抑制状態，慢性疾患の併存などが報告されている。

4 PHNの症状

・ひりひりする痛み，灼けるような痛み，電気が走るような痛み，えぐられるような痛み，痛痒さ，など。
・1人の患者にいろいろな痛みが混在する。
・痛みの強さは天気，空調，体調，心理状態に影響される。

5 PHNの診断

・皮疹の痕跡がないと診断は難しい。
・痛みや知覚異常の範囲は，帯状疱疹に罹患した神経の支配領域と一致する。
・PHNの痛みの強さが徐々に増強している場合や，一度痛みが治まっていたのに再び痛みだした場合は，他の疾患による痛みではないかの精査が必要である。

© 日本医事新報社 2023 著作権法上での例外を除き、無断複製・転載は禁じられています。

6 PHNの治療

・PHNの治療の基本は薬物療法で，ガバペンチン，ミロガバリン，アミトリプチリンが有効であるが，副作用のため使用できないこともある。
・副作用を減らすため，少量から開始して，ゆっくり増量する。
・神経ブロック療法や脊髄刺激療法はエビデンスレベルの高い報告はないが，有効な症例もある。
・PHNに有効とされる特異的な理学療法はないが，慢性疼痛の軽減のためには，継続可能な運動を生活の中に取り入れることが大切である。

7 日常生活の注意点

・趣味に使う時間を多くするなど，痛みを意識しない生活を心がける。
・PHNの痛みには強弱の波はあるが，悪化することはない。
・夜間の痛みは気になることが多いため，我慢させずに薬物療法を行う。

8 PHNの予防

・痛みに対する早期治療が大切である。
・帯状疱疹が発症したら，皮疹の治療とともに，神経痛に対する治療も行う。
・PHNの最も有効な予防策は，帯状疱疹にならないこと。50歳を過ぎたらワクチン接種が効果的である。

© 日本医事新報社 2023 著作権法上での例外を除き、無断複製・転載は禁じられています。

1 帯状疱疹後神経痛(PHN)とは

“帯状疱疹の痛み”は，帯状疱疹発症からの経過時間により，呼び方が異なる。帯状疱疹による痛みを総称して「帯状疱疹関連痛（zoster-associated pain：ZAP）」と呼び，ZAPは発疹出現前に起こる前駆痛，発疹出現直後の急性痛から慢性痛までが含まれる（図1）。慢性化した痛みのことを「帯状疱疹後神経痛（postherpetic neuralgia：PHN）」と呼ぶが，明確な定義はないため，使用する場面や診療科により使い方が異なる。臨床の場では，「皮疹治癒後も遷延する痛み」をPHNと呼ぶことが多い。

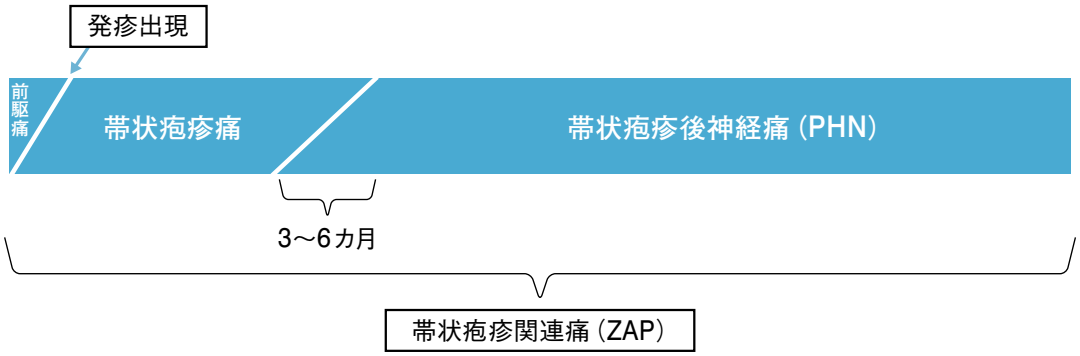

図1 帯状疱疹発症からの経過時間による痛みの呼び方
PHN：postherpetic neuralgia，ZAP：zoster-associated pain

一方，臨床研究の場では「帯状疱疹発症後90日以上経過しても続く，visual analogue scale（VAS）値（100mmの線上で）40mm以上の強い痛み」と定義することが多い[1)]。臨床研究の場でPHNの時期を定義するのは，PHNに対する新しい治療法の前向き研究を行う場合，自然治癒する症例が存在すると治療効果を正確に評価できなくなってしまうため，自然治癒が起こる時期と起こらない時期を区別する必要があるからである。つまり，臨床研究の場で用いるPHNとは，自然治癒が期待できない痛みであることを意味する。ペインクリニック診療においても，痛みの治療目標を明確にするため，自然治癒する可能性のある痛みをZAPもしくは帯状疱疹痛，自然治癒しない痛みをPHNと呼び，区別することが多い。PHN以外のZAPは自然治癒が期待できる痛みであるため，自然治癒を促すよ

© 日本医事新報社 2023 著作権法上での例外を除き、無断複製・転載は禁じられています。